

# 全国47都道府県の 災害時トイレに関する意識調査

---

2026年6月26日

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

Labo.  
日本トイレ研究所

# 調査概要

- 調査目的** : 災害時のトイレ対応および備蓄状況に関する意識の把握
- 調査対象** : 47都道府県・20代～60代・男女
- 調査方法** : インターネット調査
- 調査期間** : 2026年5月12日（火）～2026年5月25日（月）
- 回答数** : 4700サンプル（各都道府県100サンプル）
- 実施主体** : 特定非営利活動法人日本トイレ研究所

※本調査では、小数第2位を四捨五入しています。そのため、数字の合計が100%とならない場合があります。

## 本件に関するお問い合わせ

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

E-mail [contact\\_us@toilet.or.jp](mailto:contact_us@toilet.or.jp)

TEL 03-6809-1308

FAX 03-6809-1412

本資料を転載・引用される際は上記までご連絡の上、クレジット表記をお願いいたします。

# 主な調査結果

## ● 7割以上が自宅での避難生活を想定しているが、災害用トイレの備蓄をしている人は2割（Q3、Q4）

避難生活先として「自宅」を選んだのは74.7%である。一方、「災害用トイレ（携帯トイレ\*1・簡易トイレ）」を備えているのは20.6%であり、備えているものとして上位の「懐中電灯・ランタン」「飲料水」であっても全体の半数に満たない。

## ● 災害用トイレの備蓄率には地域差がみられる（Q4）

災害用トイレの備蓄率は全国で20.6%だが、都道府県別で差がみられた。東京都（35.0%）神奈川県（34.0%）、愛知県（32.0%）、大分県（32.0%）、静岡県（31.0%）、大阪府（31.0%）などで、比較的高い傾向である。

## ● 自宅で困りそうなこと最多は「水洗トイレが使えない」（Q6、Q8）

大地震のあと、自宅で困りそうなこととして最も多いのは「水洗トイレが使えない」（62.6%）で、「飲料水がない」（39.4%）など他の選択肢を大きく上回った。一方で、大地震の後、水洗トイレを使うと汚水が溢れたり、逆流したりする危険性を過半数（57.3%）が知らない。

## ● 災害用トイレを備蓄していても、数量不足・使い方を確認していない人が多い（Q9、Q14）

備蓄している災害用トイレの数は、1人当たり「1～5回分」（24.8%）、「6～10回分」（22.0%）が中心で、目安となる備蓄量\*2に対して不足している。「何回分かかわからない」（22.2%）も少なくない。また、備蓄している人のうち「使用方法を確認した」は24.2%にとどまり、「購入したまま、確認していない」も59.9%となっている。

## ● 備蓄にあたっての情報不足が課題（Q11、Q12）

災害用トイレの適切な備蓄量の目安については「わからない」が最多の42.3%であった。災害用トイレを備蓄していない理由として、「どのくらい備蓄すればよいかかわからない」18.9%、「どの製品を購入すればよいかかわからない」18.8%が上位に挙がり、情報不足が課題となっている。

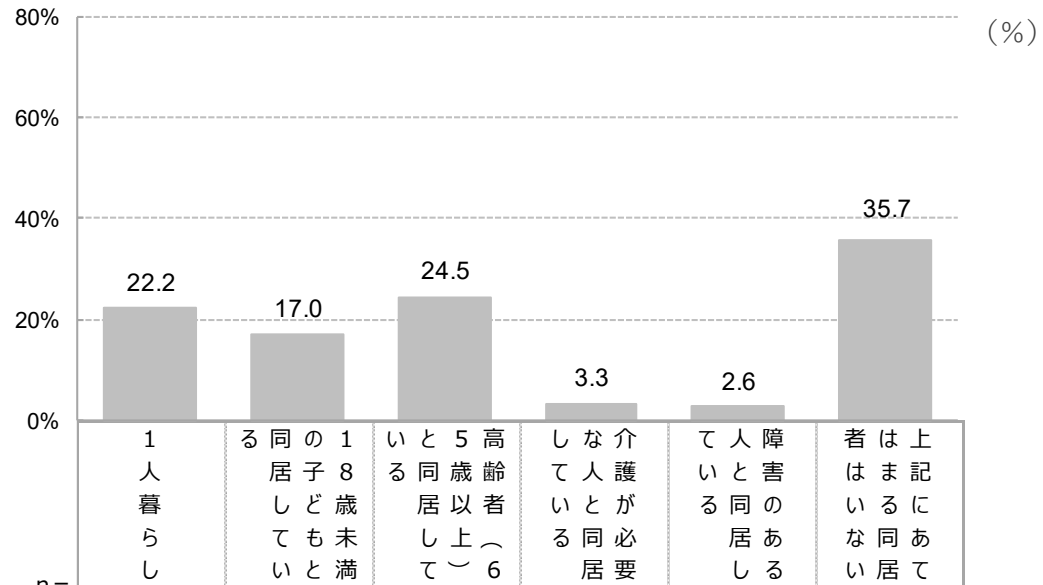
\*1 携帯トイレ：断水や排水不可となった際に、洋式便器等に設置して使用する袋タイプのトイレを指す。  
（参照）災害用トイレの分類 <https://www.toilet.or.jp/toilet-guide/feature/>

\*2 「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」（内閣府（防災担当））では、トイレの平均的な使用回数を1日5回（目安）としている。また「防災基本計画」（中央防災会議）では、「最低3日間、推奨1週間」分の食料、飲料水、携帯トイレ・簡易トイレ、トイレトイレットペーパー等の備蓄等について、国〔内閣府等〕、公共機関、地方公共団体等が普及啓発を図るとしている。

# 同居者について

Q1. 現在、あなたと同居している方について、当てはまるものを全て選んでください。（MA）

- ・「1人暮らし」は22.2%、「18歳未満の子供と同居している」は17.0%、「高齢者（65歳以上）と同居している」24.5%である。

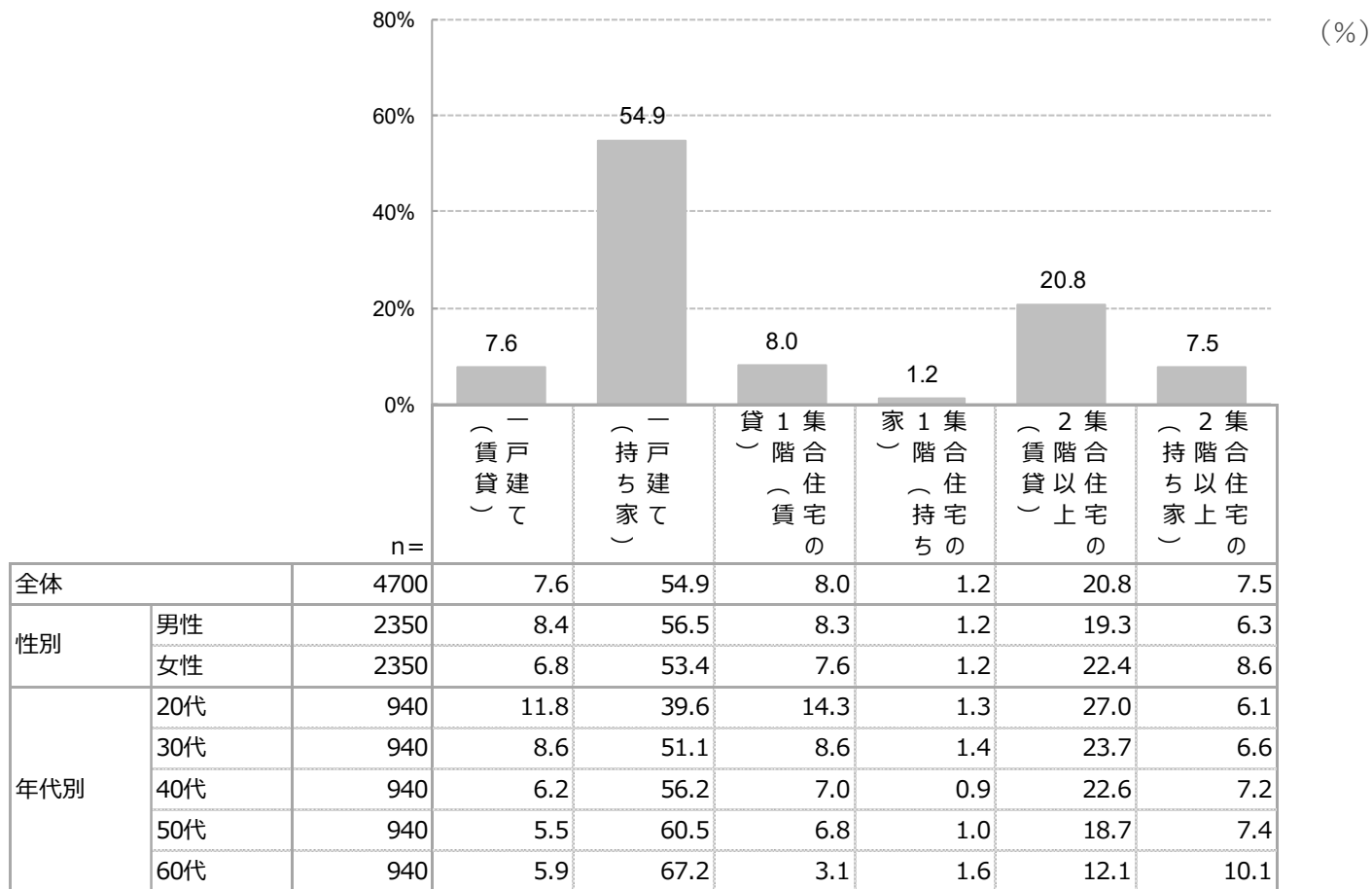


		n=	1人暮らし	18歳未満の子供と同居している	5歳以上6歳未満の子供と同居している	介護が必要な同居者	障害のある同居者	上記以外
全体		4700	22.2	17.0	24.5	3.3	2.6	35.7
性別	男性	2350	24.9	16.8	24.0	3.1	2.2	34.0
	女性	2350	19.5	17.1	25.0	3.5	3.0	37.4
年代別	20代	940	31.1	9.1	10.1	1.9	2.9	47.3
	30代	940	19.0	28.7	24.6	2.2	1.9	28.7
	40代	940	19.0	31.9	27.6	3.2	2.7	22.8
	50代	940	20.0	13.1	24.9	5.0	2.3	41.1
	60代	940	21.8	1.9	35.3	4.4	3.1	38.5

# 住宅について

Q2. あなたのお住まいの住宅について、選択肢から一つ選んでください。（S A）

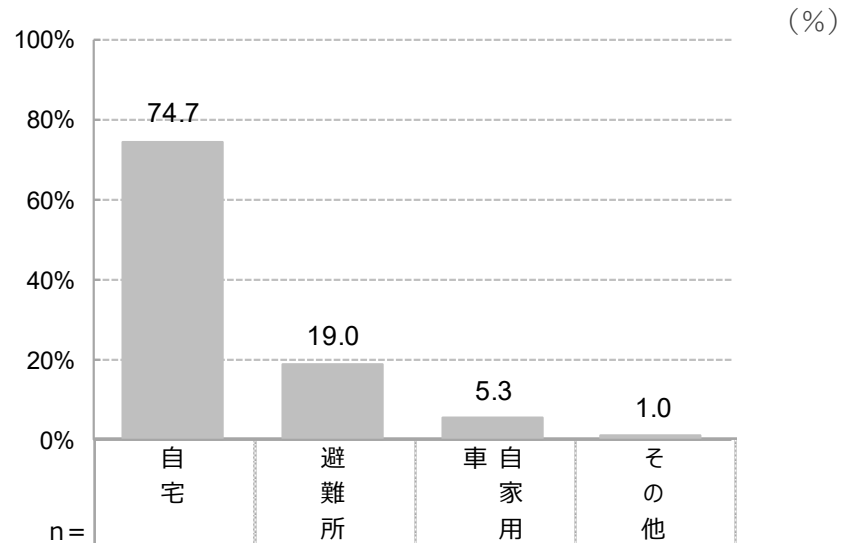
・最も多いのは「一戸建て（持ち家）」54.9%、次いで「集合住宅の2階以上（賃貸）」20.8%である



# 停電・断水時の避難生活場所

Q3. 大地震で地域全体が停電・断水している時、あなたはどちらでの避難生活を選びますか。(S A)

・「自宅」74.7%、「避難所」19.0%、「自家用車」5.3%である。

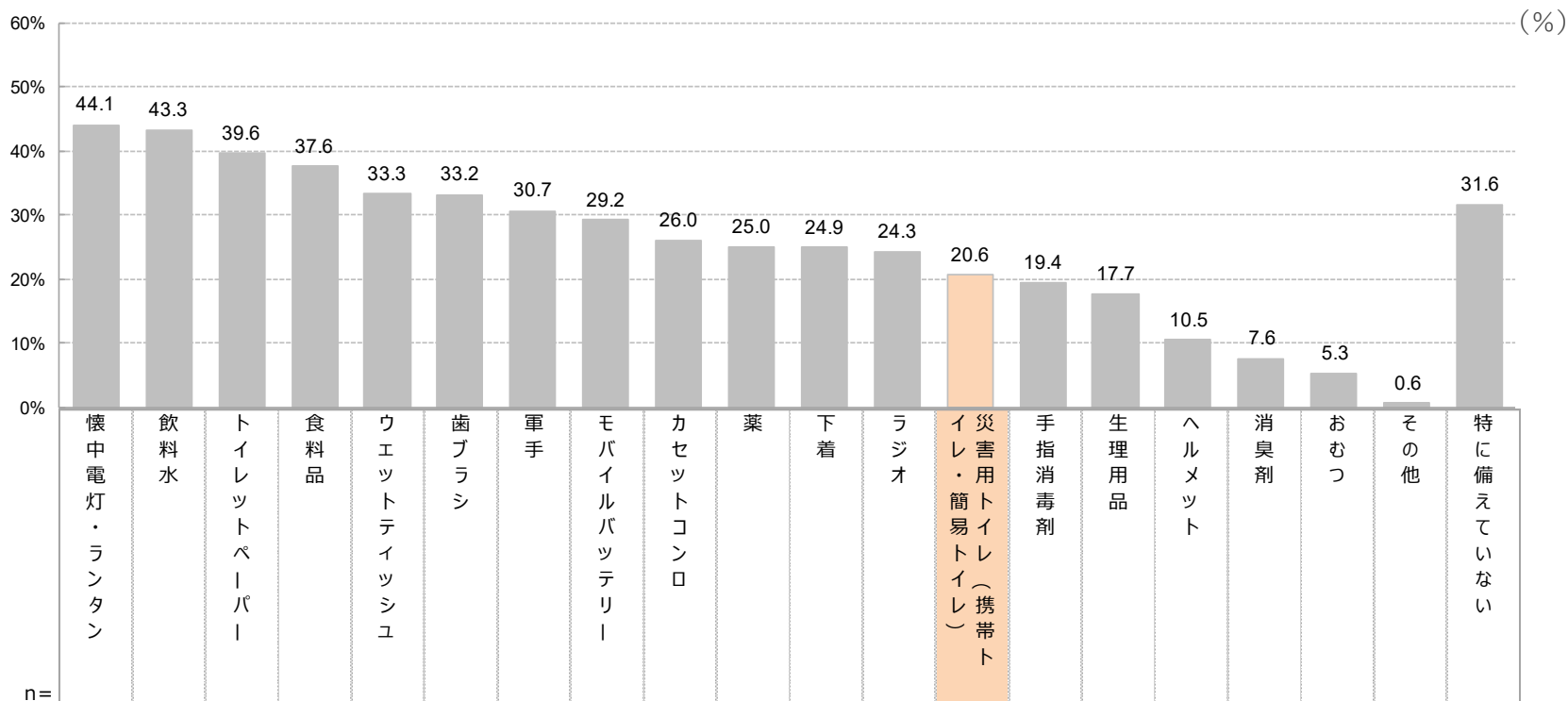


		n =	自宅	避難所	自家用車	その他
全体		4700	74.7	19.0	5.3	1.0
性別	男性	2350	74.1	19.4	5.6	0.9
	女性	2350	75.4	18.5	5.0	1.1
年代別	20代	940	71.7	22.1	5.1	1.1
	30代	940	75.0	18.2	5.9	1.0
	40代	940	77.2	17.2	4.7	0.9
	50代	940	75.6	16.6	6.4	1.4
	60代	940	74.1	20.6	4.5	0.7

# 自宅に備えている防災用品

Q4. あなたが現在、防災用として自宅に備えているものを全てお選びください。(MA)

・最も多いのは「懐中電灯・ランタン」44.1%、次いで「飲料水」43.3%である。「災害用トイレ」は20.6%である。



		n=	懐中電灯・ランタン	飲料水	トイレットペーパー	食料品	ウェットティッシュ	歯ブラシ	軍手	モバイルバッテリー	カセットコンロ	薬	下着	ラジオ	災害用トイレ(携帯)	手指消毒剤	生理用品	ヘルメット	消臭剤	おむつ	その他	特に備えていない
全体		4700	44.1	43.3	39.6	37.6	33.3	33.2	30.7	29.2	26.0	25.0	24.9	24.3	20.6	19.4	17.7	10.5	7.6	5.3	0.6	31.6
性別	男性	940	41.7	41.2	35.9	35.6	27.8	29.1	28.6	29.8	25.1	21.7	22.1	24.9	15.9	14.3	7.4	11.4	7.3	3.8	0.5	33.1
	女性	940	46.6	45.4	43.2	39.7	38.7	37.4	32.8	28.6	27.0	28.4	27.8	23.6	25.3	24.5	28.0	9.6	7.9	6.7	0.6	30.0
年代別	20代	940	27.4	33.2	26.4	28.9	22.2	22.7	14.4	26.4	12.7	17.6	16.7	12.8	16.6	12.8	20.0	6.4	6.1	4.5	0.3	41.7
	30代	940	34.5	39.5	31.7	34.5	28.0	27.4	21.3	25.7	17.7	20.3	20.1	15.4	19.5	15.3	22.4	9.0	6.8	7.0	0.4	38.0
	40代	940	45.9	43.6	42.1	38.6	36.2	34.7	31.3	29.8	27.3	25.2	25.4	21.7	21.3	20.7	24.6	10.4	7.7	4.5	0.6	28.0
	50代	2350	51.6	44.7	43.2	40.5	36.1	37.0	38.6	32.3	32.2	27.2	28.2	30.1	19.6	20.9	14.6	11.7	8.4	4.5	0.5	29.8
	60代	2350	61.4	55.6	54.4	45.5	43.8	44.3	48.1	31.7	40.2	34.8	34.3	41.3	26.0	27.1	7.1	14.9	9.0	5.9	0.9	20.3

# 災害用トイレ（携帯トイレ・簡易トイレ）の備蓄割合

Q4. あなたが現在、防災用として自宅に備えているものを全てお選びください。（MA）（災害用トイレ）

・「災害用トイレ（携帯トイレ・簡易トイレ）」を備えている人は全国平均では20.6%、都道府県別では以下の通りである。

順位	都道府県	割合 (%)
1	東京都	35.0
2	神奈川県	34.0
3	愛知県	32.0
3	大分県	32.0
5	静岡県	31.0
5	大阪府	31.0
7	長野県	28.0
8	兵庫県	26.0
8	香川県	26.0
8	高知県	26.0
11	千葉県	25.0
11	山梨県	25.0
13	宮城県	24.0
13	埼玉県	24.0
13	石川県	24.0
13	福井県	24.0

順位	都道府県	割合 (%)
13	徳島県	24.0
18	滋賀県	23.0
18	奈良県	23.0
18	熊本県	23.0
18	宮崎県	23.0
22	岐阜県	20.0
23	青森県	19.0
23	栃木県	19.0
23	新潟県	19.0
26	茨城県	18.0
26	三重県	18.0
26	和歌山県	18.0
26	山口県	18.0
30	北海道	17.0
30	広島県	17.0
32	岩手県	16.0

順位	都道府県	割合 (%)
32	鳥取県	16.0
32	福岡県	16.0
32	沖縄県	16.0
36	山形県	15.0
36	京都府	15.0
36	愛媛県	15.0
39	福島県	14.0
39	富山県	14.0
41	群馬県	13.0
41	岡山県	13.0
43	秋田県	12.0
43	佐賀県	12.0
43	鹿児島県	12.0
46	島根県	11.0
46	長崎県	11.0

(各都道府県 n=100)

# 飲料水の備蓄割合

Q4. あなたが現在、防災用として自宅に備えているものを全てお選びください。(MA) (飲料水)

- ・「飲料水」を備えている人は全国平均では43.3%、都道府県別では以下の通りである。

順位	都道府県	割合 (%)
1	静岡県	56.0
2	東京都	53.0
2	埼玉県	53.0
2	徳島県	53.0
5	大阪府	52.0
6	愛知県	51.0
6	三重県	51.0
8	香川県	50.0
8	高知県	50.0
10	石川県	49.0
11	神奈川県	48.0
11	千葉県	48.0
11	奈良県	48.0
11	和歌山県	48.0
11	広島県	48.0
16	宮城県	47.0

順位	都道府県	割合 (%)
17	兵庫県	46.0
18	大分県	45.0
18	熊本県	45.0
18	宮崎県	45.0
18	青森県	45.0
18	栃木県	45.0
18	茨城県	45.0
24	山梨県	43.0
25	長野県	42.0
25	滋賀県	42.0
25	新潟県	42.0
25	岩手県	42.0
25	京都府	42.0
25	群馬県	42.0
31	秋田県	41.0
32	福井県	40.0

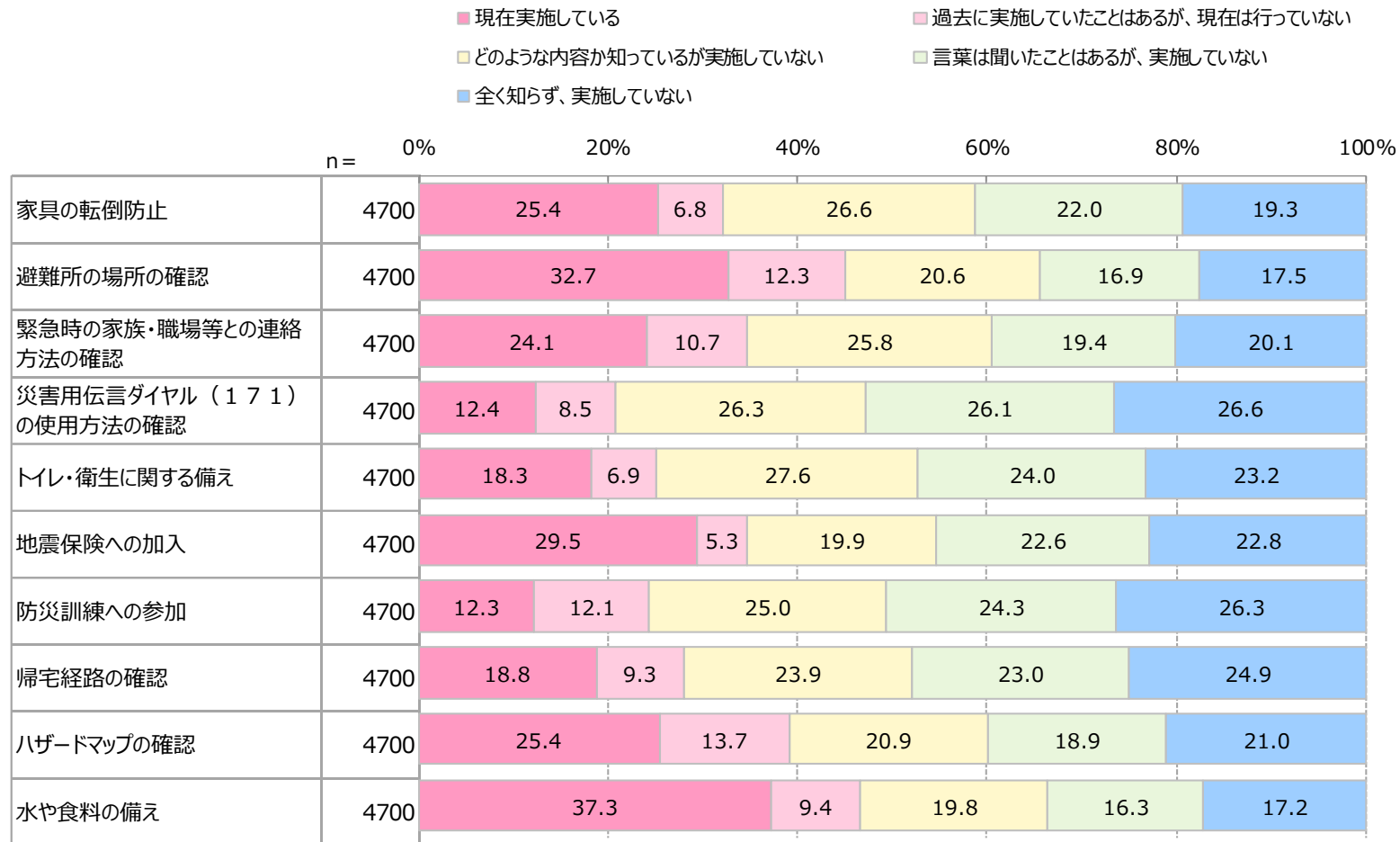
順位	都道府県	割合 (%)
32	岐阜県	40.0
32	福岡県	40.0
32	愛媛県	40.0
36	福島県	39.0
37	沖縄県	38.0
38	山口県	37.0
38	鹿児島県	37.0
40	佐賀県	36.0
40	島根県	36.0
40	長崎県	36.0
43	山形県	34.0
43	岡山県	34.0
45	北海道	32.0
46	富山県	31.0
47	鳥取県	29.0

(各都道府県 n=100)

# 防災に関連した行動の実施状況

Q5. 以下の防災に関する事柄について、それぞれ当てはまるものをお選びください。（SA）

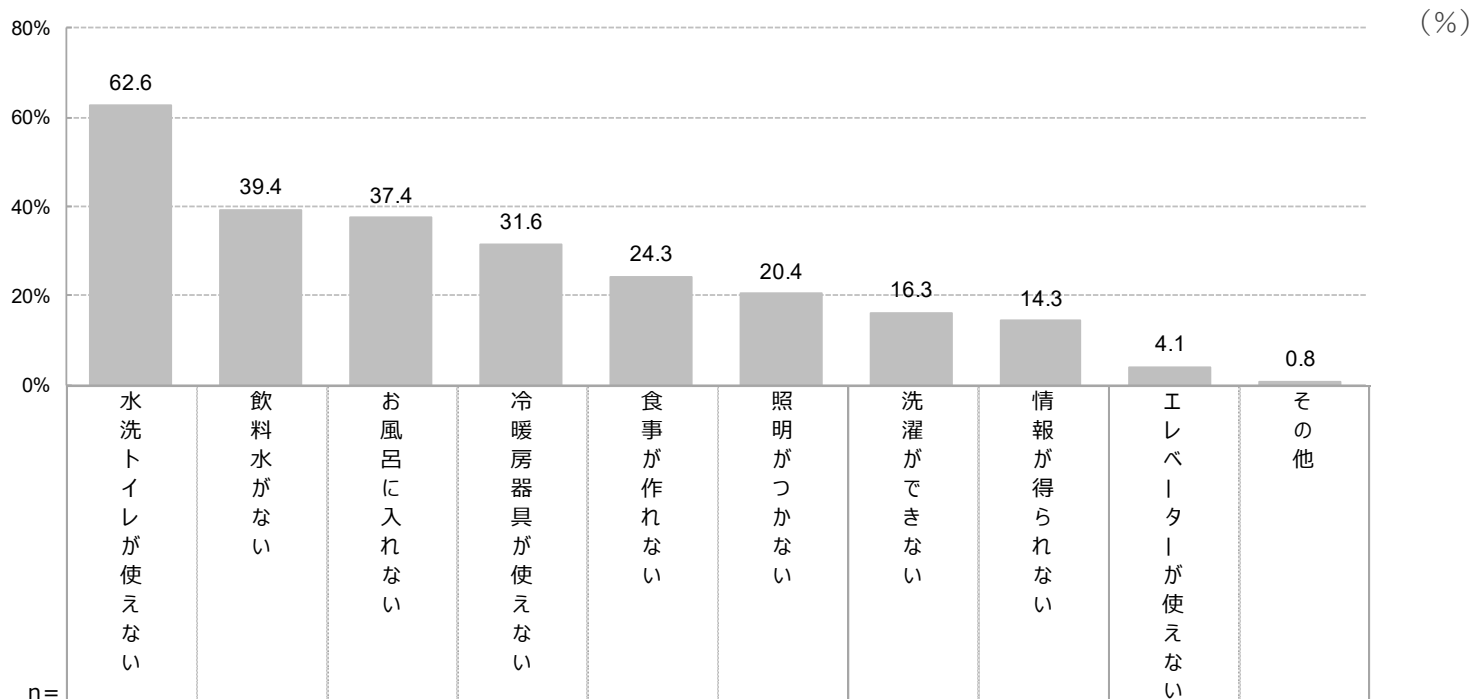
・「どのような内容か知っているが実施していない」は「トイレ・衛生に関する備え」が最も多く27.6%である。



# 震災時、自宅生活で困りそうなこと

Q6. 大地震のあと、自宅で数日間生活するとした場合、困りそうなことは何ですか？  
特にあてはまるものを選んでください。（MA）

・最も多いのは「水洗トイレが使えない」62.6%である。

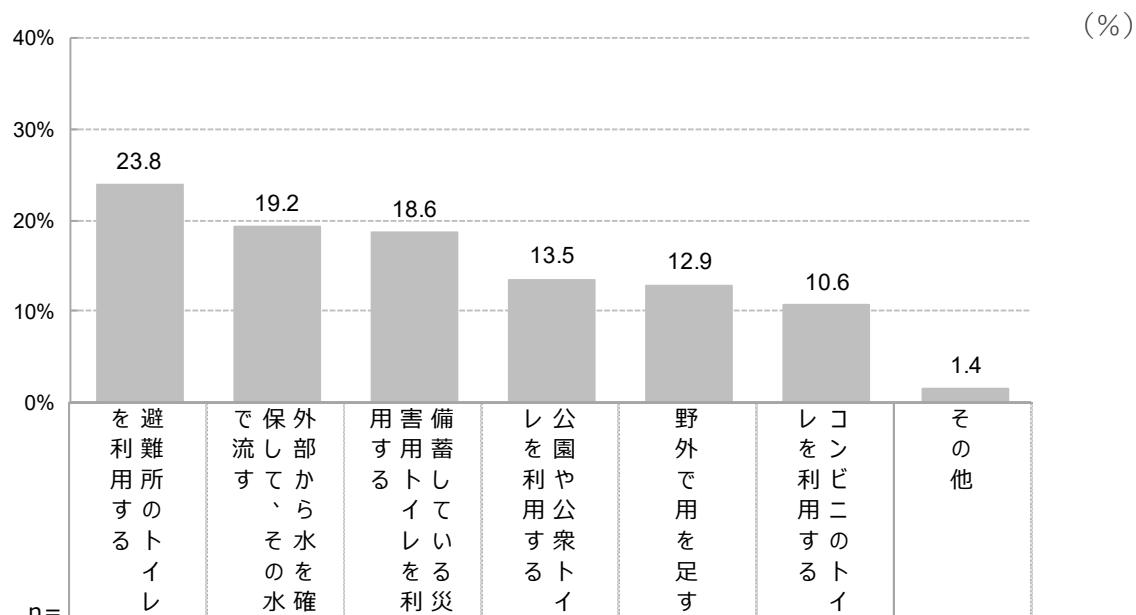


		n =	水洗トイレが使えない	飲料水がない	お風呂に入れない	冷暖房器具が使えない	食事が作れない	照明がつかない	洗濯ができない	情報が得られない	エレベーターが使えない	その他
全体		4700	62.6	39.4	37.4	31.6	24.3	20.4	16.3	14.3	4.1	0.8
性別	男性	2350	58.1	40.5	36.2	27.1	24.6	19.8	16.4	14.7	4.8	0.9
	女性	2350	67.1	38.3	38.6	36.0	24.1	21.0	16.1	14.0	3.5	0.7
年代別	20代	940	48.7	36.2	35.6	23.7	27.0	17.8	14.8	17.2	6.3	1.4
	30代	940	59.3	41.6	36.5	28.5	24.3	15.0	17.1	15.1	4.4	0.9
	40代	940	64.4	40.1	39.9	31.8	23.3	18.3	17.9	14.3	3.1	0.6
	50代	940	68.5	40.7	37.3	36.2	24.7	21.8	15.6	12.4	3.0	0.5
	60代	940	72.2	38.3	37.8	37.6	22.4	29.0	15.9	12.6	4.0	0.6

# 震災時、水洗トイレ使用ができない場合の行動

Q7. 大地震が発生し、断水により自宅の水洗トイレが使用できなくなった場合、あなたはどのようにしますか。最もあてはまるものを1つお選びください。(SA)

・「避難所のトイレを利用する」は23.8%、「外部から水を確保して、その水で流す」は19.2%、「備蓄している災害用トイレを利用する」は18.6%である。

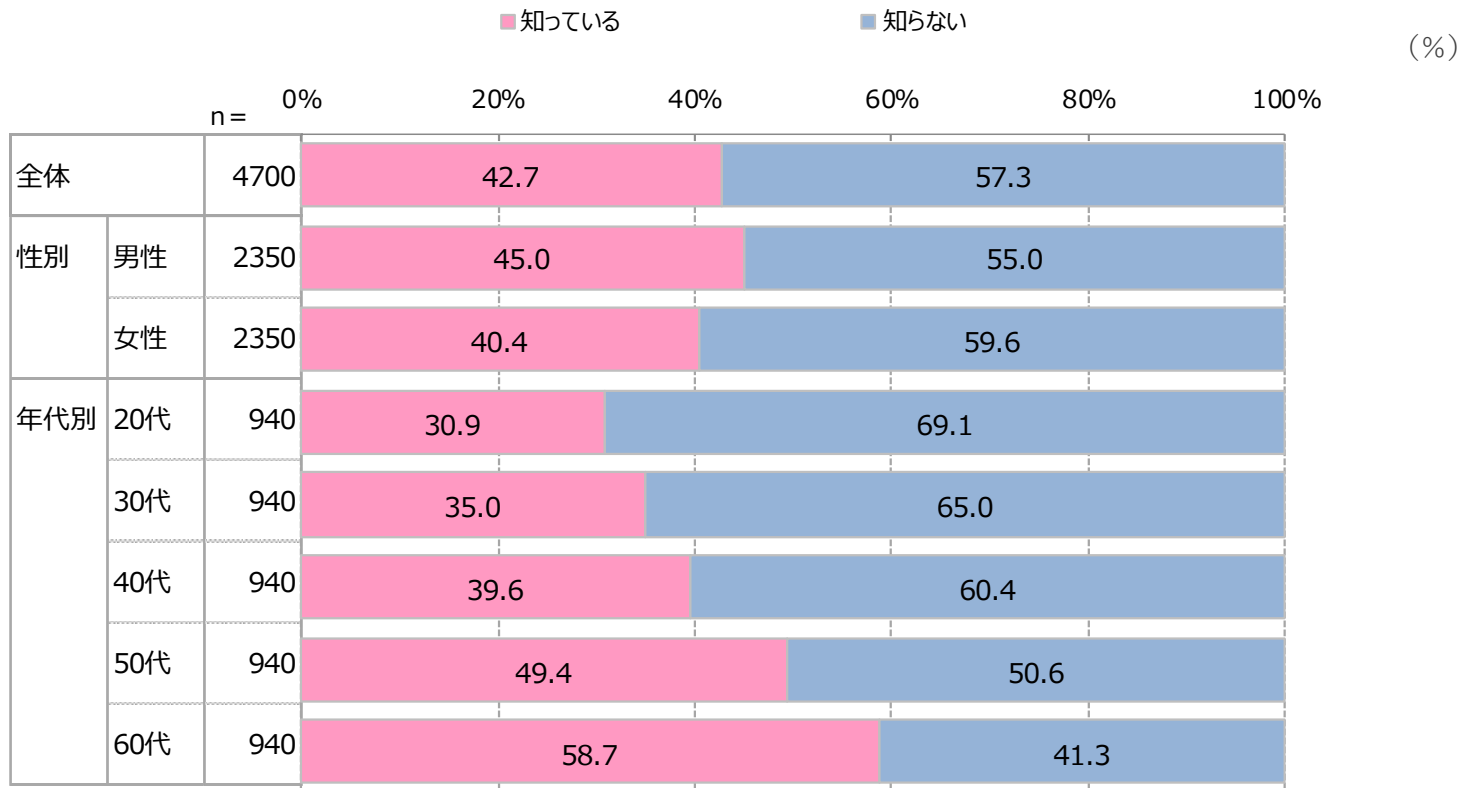


		n=	を避難所のトイレ	で保外部からその水を確	用害備蓄している利災	レ公園や公共トイ	野外で用を足す	レコンビニのトイ	その他
全体		4700	23.8	19.2	18.6	13.5	12.9	10.6	1.4
性別	男性	2350	22.6	19.1	13.9	15.7	17.3	10.2	1.2
	女性	2350	24.9	19.3	23.4	11.3	8.6	11.1	1.5
年代別	20代	940	23.0	14.0	16.2	14.8	16.4	14.5	1.2
	30代	940	23.4	17.6	19.0	13.0	16.0	10.3	0.7
	40代	940	24.3	17.8	19.6	13.8	13.1	10.9	0.6
	50代	940	23.5	21.6	16.9	15.2	11.2	9.8	1.8
	60代	940	24.7	25.0	21.4	10.7	8.0	7.7	2.6

# 震災時、汚水が溢れる・逆流する危険性の認知

Q8. あなたは大地震の影響でトイレの排水管が壊れている場合に、水洗トイレを使うと汚水が溢れたり、逆流したりする危険性がある事を知っています。(SA)

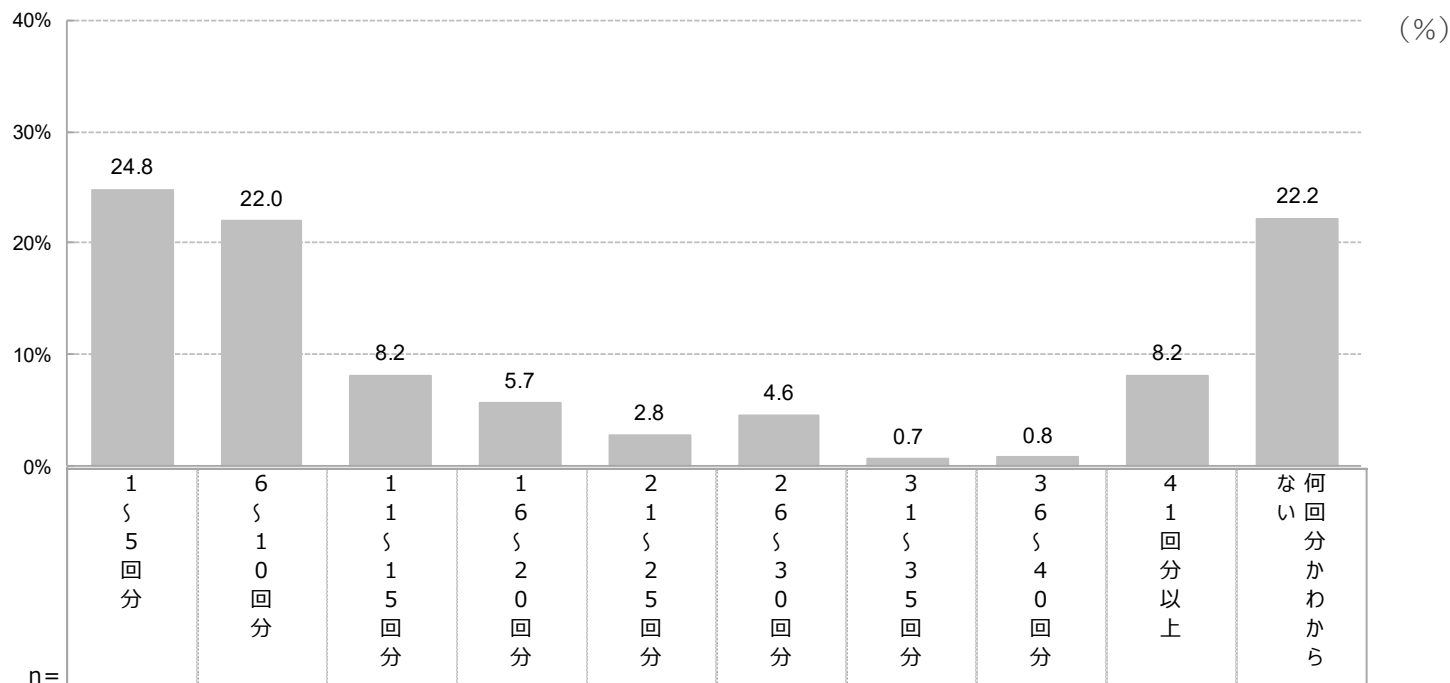
- ・「知っている」42.7%、「知らない」57.3%である。
- ・「知っている」割合は、50代・60代が全体に比べて高く、60代が最多の58.7%である。



# 備蓄している災害用トイレの数

Q9. 災害用トイレを備蓄している人にお聞きします。備蓄している数量はおおよそ何回分ですか？ 1人当たりの数量でお答えください。（SA）

・災害用トイレを備蓄している数量は「1～5回分」24.8%、「6～10回分」22.0%、「何回分かわからない」22.2%である。

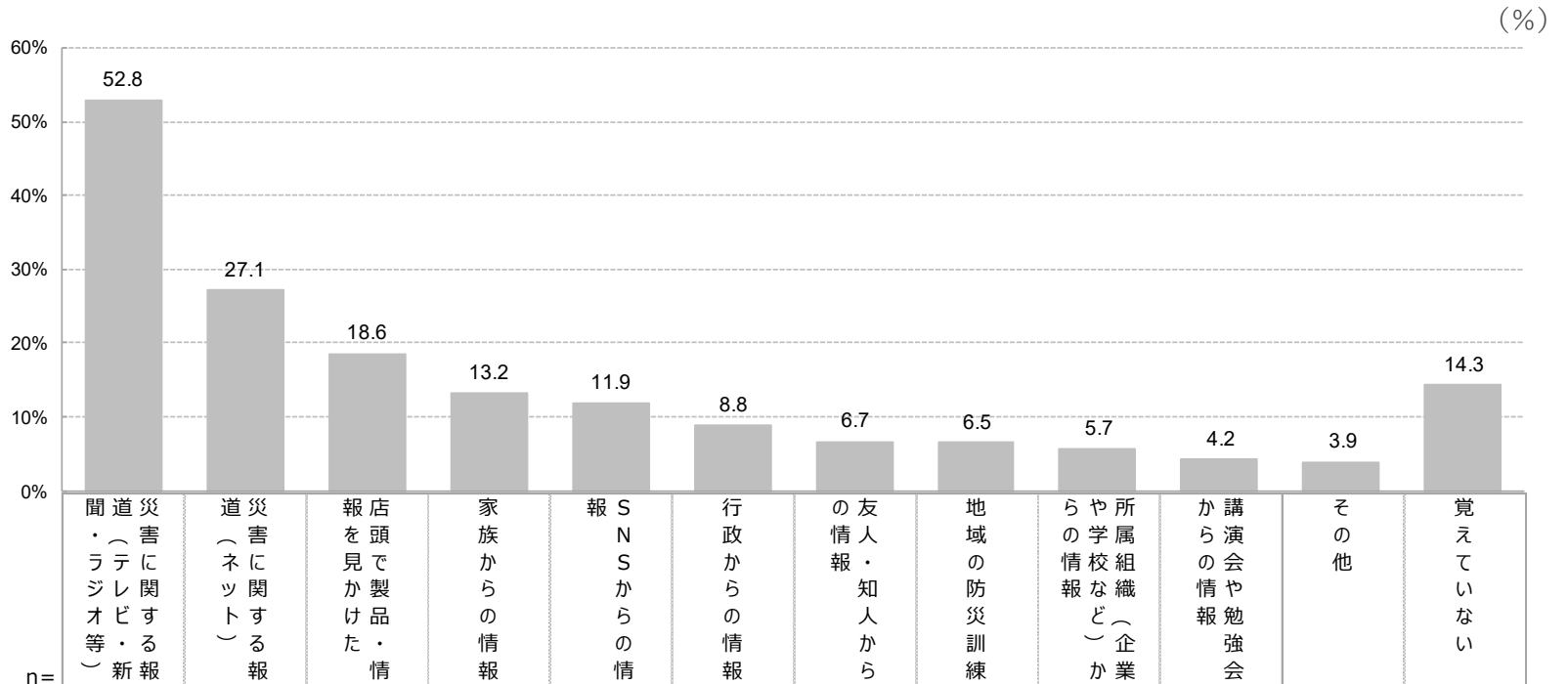


		n=	1 ～ 5 回 分	6 ～ 1 0 回 分	1 ～ 5 回 分	1 ～ 6 回 分	2 ～ 5 回 分	2 ～ 6 回 分	3 ～ 5 回 分	3 ～ 6 回 分	4 ～ 1 0 回 分 以 上	な い 何 回 分 か わ か ら
全体		967	24.8	22.0	8.2	5.7	2.8	4.6	0.7	0.8	8.2	22.2
性別	男性	373	19.0	23.3	9.7	5.6	3.8	4.8	0.5	0.5	9.7	23.1
	女性	594	28.5	21.2	7.2	5.7	2.2	4.4	0.8	1.0	7.2	21.7
年代別	20代	156	22.4	15.4	7.7	5.8	4.5	2.6	0.0	0.0	7.7	34.0
	30代	183	24.0	23.5	7.7	7.1	2.7	2.7	0.5	0.0	7.1	24.6
	40代	200	25.5	22.0	10.5	5.0	3.0	3.0	0.5	0.0	8.0	22.5
	50代	184	24.5	21.7	8.7	6.0	0.0	7.6	1.6	2.2	8.7	19.0
	60代	244	26.6	25.4	6.6	4.9	3.7	6.1	0.8	1.6	9.0	15.2

# 災害用トイレ備蓄のきっかけ

Q10. 災害用トイレを備蓄している人にお聞きします。備蓄をした主なきっかけは何でしたか？あてはまるものをすべてお選びください。（MA）

・最も多いのは「災害に関する報道（テレビ・新聞・ラジオ等）」52.8%である。「災害に関する報道（ネット）」とあわせると、79.9%を占める。

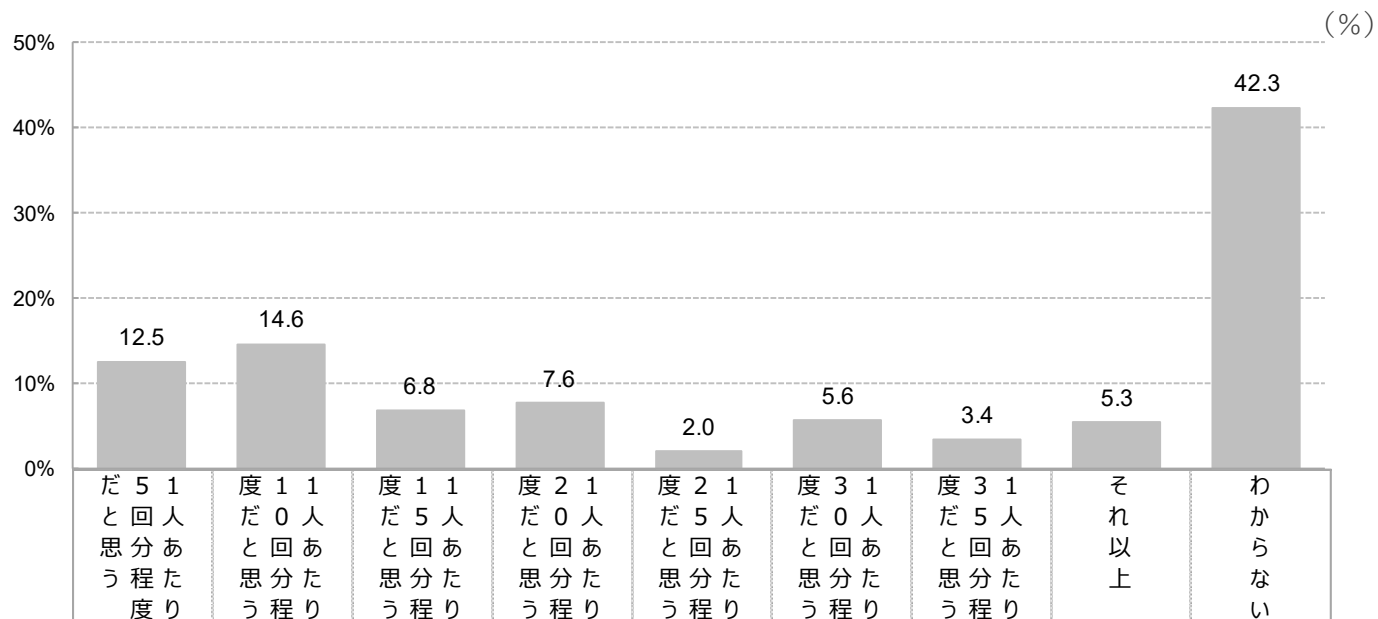


		n=	52.8	27.1	18.6	13.2	11.9	8.8	6.7	6.5	5.7	4.2	3.9	14.3
全体		967	52.8	27.1	18.6	13.2	11.9	8.8	6.7	6.5	5.7	4.2	3.9	14.3
性別	男性	373	49.9	32.2	17.7	13.9	13.9	12.3	6.4	8.6	9.4	5.9	3.8	14.7
	女性	594	54.7	23.9	19.2	12.8	10.6	6.6	6.9	5.2	3.4	3.2	4.0	14.0
年代別	20代	156	39.7	25.0	16.7	21.8	20.5	7.7	7.1	6.4	11.5	5.1	1.9	17.3
	30代	183	41.0	30.6	17.5	14.8	16.9	11.5	6.6	3.3	5.5	6.0	3.8	18.6
	40代	200	55.5	27.5	16.5	8.5	10.5	8.5	4.0	10.0	4.5	2.5	4.0	13.5
	50代	184	53.3	23.9	20.7	14.7	6.0	6.0	8.2	5.4	4.3	4.3	4.9	14.1
	60代	244	67.6	27.9	20.9	9.4	8.2	9.8	7.8	7.0	4.1	3.7	4.5	9.8

# 適切な備蓄量についての認識

Q11. 災害用トイレ（携帯トイレ・簡易トイレ）の適切な備蓄量の目安はどのくらいだと思いますか？  
最もあてはまるものを1つ選んでください。（SA）

・最も多いのは「わからない」42.3%、次いで「1人あたり10回分程度だと思う」14.6%である。

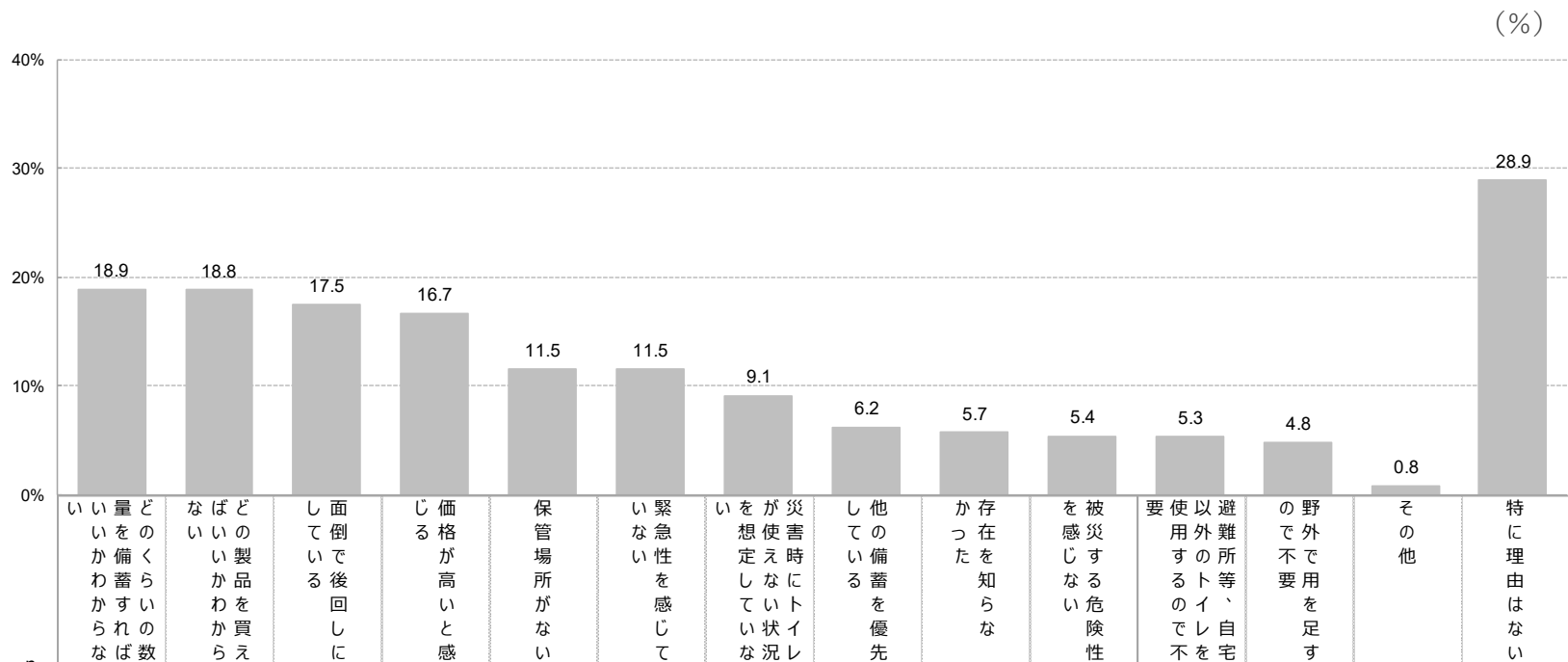


		n=	だ 5 1 と回人 思分あ う程た 度り	度 1 1 だ 0 人 と回あ 思分た う程り	度 1 1 だ 5 人 と回あ 思分た う程り	度 2 1 だ 0 人 と回あ 思分た う程り	度 2 1 だ 5 人 と回あ 思分た う程り	度 3 1 だ 0 人 と回あ 思分た う程り	度 3 1 だ 5 人 と回あ 思分た う程り	それ 以上	わ か ら な い
全体		4700	12.5	14.6	6.8	7.6	2.0	5.6	3.4	5.3	42.3
性別	男性	2350	13.2	15.7	7.9	7.7	2.3	4.9	2.6	4.5	41.1
	女性	2350	11.8	13.4	5.6	7.4	1.8	6.3	4.2	6.1	43.4
年代別	20代	940	13.1	13.0	7.9	7.4	2.6	3.3	3.6	3.9	45.2
	30代	940	11.3	14.6	7.6	6.8	1.6	5.6	1.5	4.6	46.5
	40代	940	12.8	14.6	6.4	8.4	2.4	5.5	3.6	6.9	39.4
	50代	940	12.0	13.6	5.6	7.6	2.2	5.9	5.0	4.7	43.4
	60代	940	13.4	17.1	6.4	7.7	1.3	7.6	3.3	6.4	36.9

# 備蓄していない理由

Q12. 災害用トイレ（携帯トイレ・簡易トイレ）の備蓄をしていない人にお聞きします。  
 備蓄をしていない理由として該当するものをすべてお選びください。（MA）

・最も多いのは「特に理由はない」28.9%、次いで「どのくらいの数量を備蓄すればいいかわからない」18.9%、「どの製品を買えばいいかわからない」18.8%である。



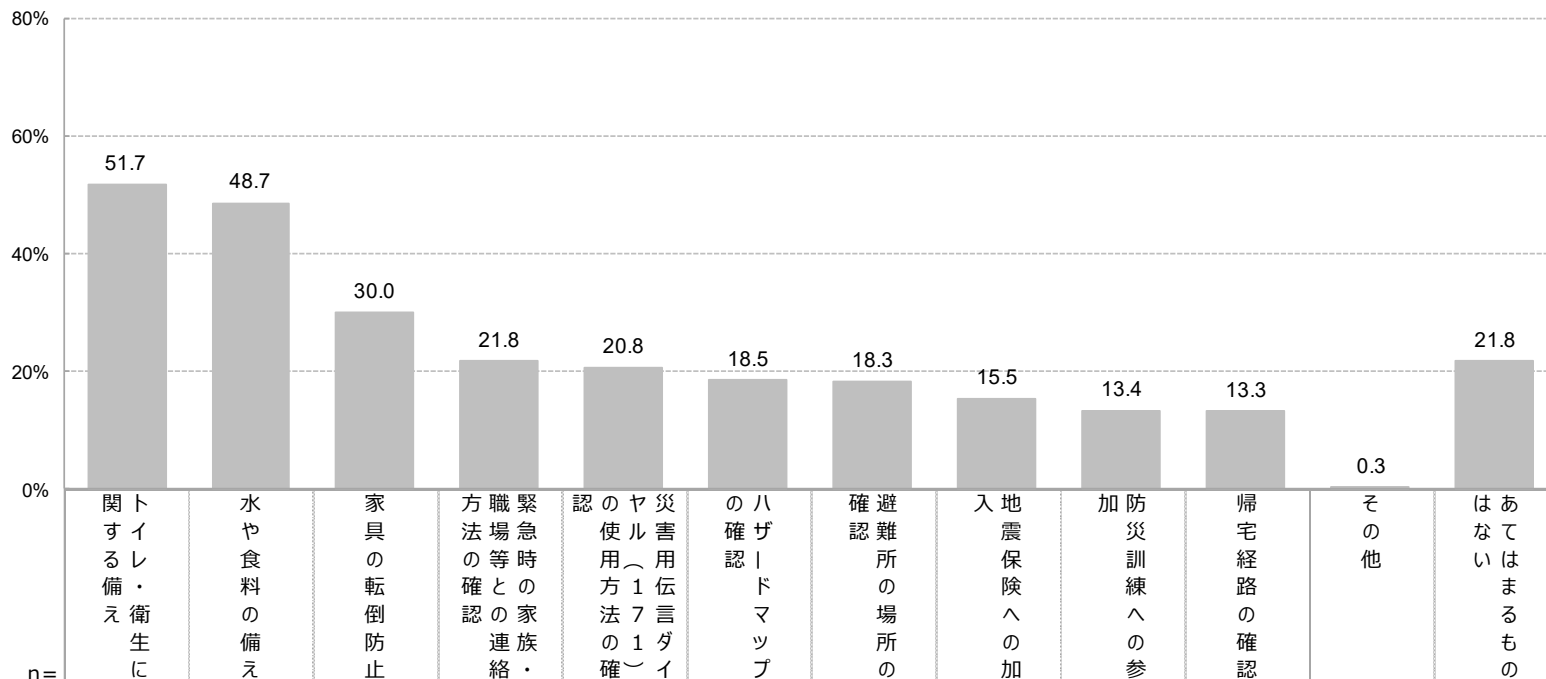
		n =	どのくらいの数量を備蓄すればいいかわからない	どの製品を買えばいいかわからない	面倒で後回しにする	価格が高いと感じる	保管場所がない	緊急性を感じていない	災害時にトイレが使用できない状況が想定されていない	他の備蓄を優先している	存在を知らない	被災する危険性を感じない	使用外のトイレを要しない	避難所等、自宅の野外で用を足す必要はない	その他	特に理由はない
全体		3733	18.9	18.8	17.5	16.7	11.5	11.5	9.1	6.2	5.7	5.4	5.3	4.8	0.8	28.9
性別	男性	1977	17.6	16.5	16.1	15.3	11.4	11.9	10.4	6.7	6.3	6.3	6.1	6.1	0.8	29.9
	女性	1756	20.3	21.4	19.1	18.2	11.7	11.0	7.5	5.5	5.0	4.4	4.3	3.4	0.7	27.8
年代別	20代	784	12.1	17.5	16.2	13.3	10.7	10.5	8.0	6.0	8.9	4.5	5.2	3.6	0.4	34.7
	30代	757	17.6	17.8	19.4	15.1	11.8	8.6	7.4	6.3	5.2	5.3	4.8	4.8	0.9	33.7
	40代	740	21.6	20.1	17.2	19.5	13.1	12.0	10.5	6.2	6.2	5.5	4.3	4.9	0.5	27.3
	50代	756	20.1	18.9	16.8	17.3	11.4	11.6	8.7	6.0	4.1	6.2	5.7	5.0	1.2	25.5
	60代	696	23.6	20.0	18.1	18.7	10.6	15.2	10.8	6.3	3.6	5.5	6.3	5.9	0.7	22.7

# 準備不足を感じるもの

Q13. 今、災害が起きたとして、準備が足りていないと思うものをすべてお選びください。(MA)

・最も多いのは「トイレ・衛生に関する備え」51.7%、次いで「水や食料の備え」48.7%である。

(%)

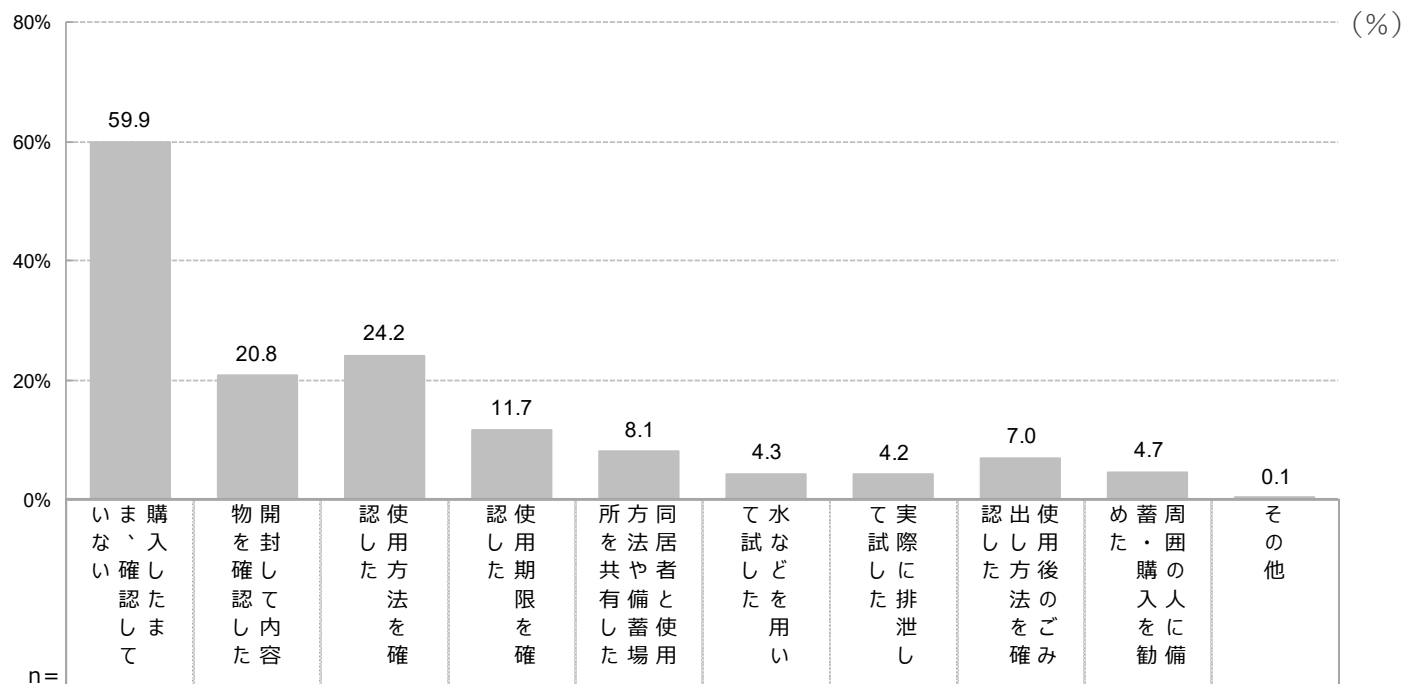


		n	トイレ・衛生に関する備え	水や食料の備え	家具の転倒防止	職場等との家族・緊急時の連絡方法の確認	災害発生時の伝言ダイヤル(119)の確認	ハザードマップの確認	避難所の場所の確認	地震保険への加入	防災訓練への参加	帰宅経路の確認	その他	はあてはまるもの
全体		4700	51.7	48.7	30.0	21.8	20.8	18.5	18.3	15.5	13.4	13.3	0.3	21.8
性別	男性	2350	46.3	44.6	28.3	18.9	17.9	17.4	16.6	15.7	13.0	11.5	0.3	23.6
	女性	2350	57.2	52.9	31.6	24.8	23.7	19.6	20.0	15.3	13.7	15.1	0.3	20.0
年代別	20代	940	40.9	38.1	28.5	23.3	20.6	23.9	21.7	18.3	16.1	17.2	0.1	30.7
	30代	940	43.6	43.9	24.8	20.9	19.0	19.6	18.1	13.9	14.3	15.6	0.1	30.3
	40代	940	54.3	49.7	32.0	24.9	21.1	18.6	20.0	15.7	13.9	15.7	0.6	20.2
	50代	940	56.7	55.6	30.6	22.2	20.0	16.3	17.3	16.1	13.5	10.3	0.2	15.7
	60代	940	63.3	56.3	33.8	17.9	23.3	14.3	14.4	13.4	9.0	7.6	0.3	11.9

# 災害用トイレ購入後の対応

Q14. 災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄している人にお聞きします。  
あてはまるものをすべて選んでください。（MA）

・「購入したまま、確認していない」が59.9%である。

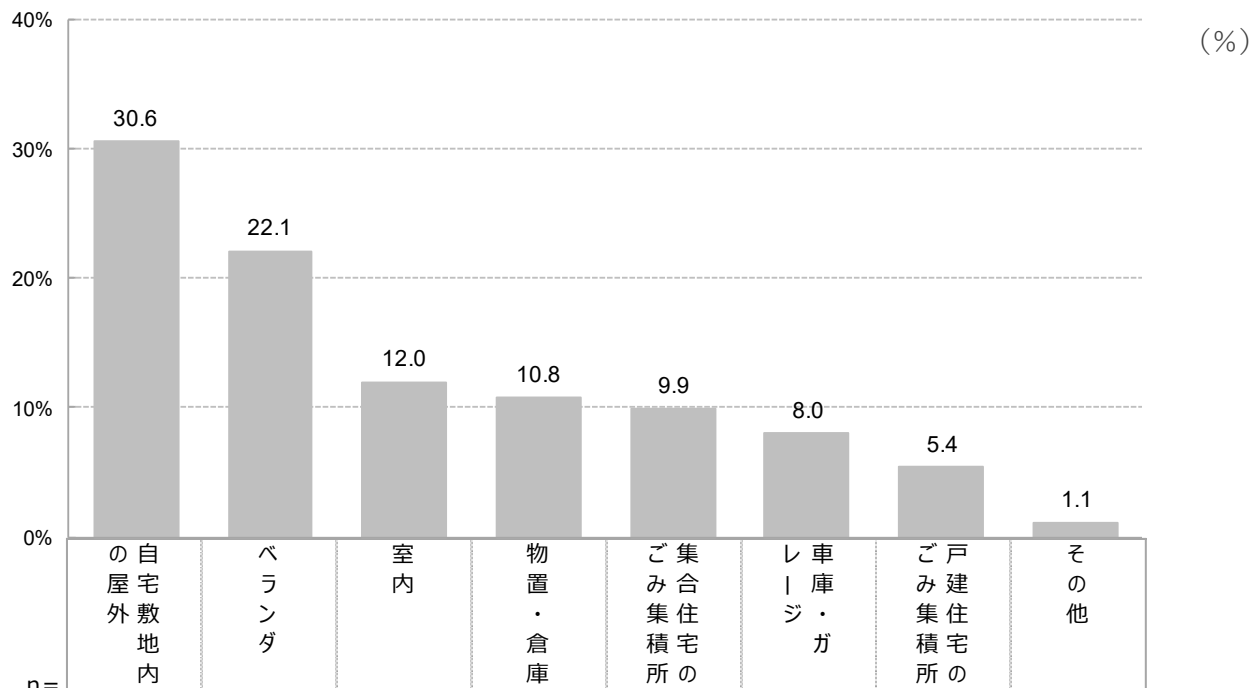


		n=	いま購入したまま、確認していない	開封確認した内容	使用方法を確認	使用期限を確認	同居者や共同利用場所の共有者として確認	水などを利用したテスト	実際に排泄した	使用後の方法のごみ出し	周囲の購入を勧めた	その他
全体		967	59.9	20.8	24.2	11.7	8.1	4.3	4.2	7.0	4.7	0.1
性別	男性	373	55.5	22.8	27.1	15.8	10.2	6.7	5.6	6.7	3.5	0.0
	女性	594	62.6	19.5	22.4	9.1	6.7	2.9	3.4	7.2	5.4	0.2
年代別	20代	940	55.8	25.0	19.2	11.5	8.3	5.8	6.4	9.6	6.4	0.0
	30代	940	58.5	19.1	25.7	14.2	10.4	7.1	3.8	7.7	5.5	0.0
	40代	940	57.0	20.0	24.5	11.0	7.5	5.5	4.0	4.0	4.5	0.0
	50代	940	66.8	16.3	26.1	11.4	8.7	2.7	4.3	9.2	2.2	0.5
	60代	940	60.7	23.4	24.6	10.7	6.1	1.6	3.3	5.7	4.9	0.0

# 使用後の災害用トイレのごみ置き場

Q15. 災害時は、ごみ収集がすぐに来ないことが予想されます。使用後の災害用トイレ（携帯トイレ・簡易トイレ）のごみを主にどこに溜めておこうと思いますか？（SA）

・最も多いのは「自宅敷地内の屋外」30.6%、次いで「ベランダ」22.1%である。

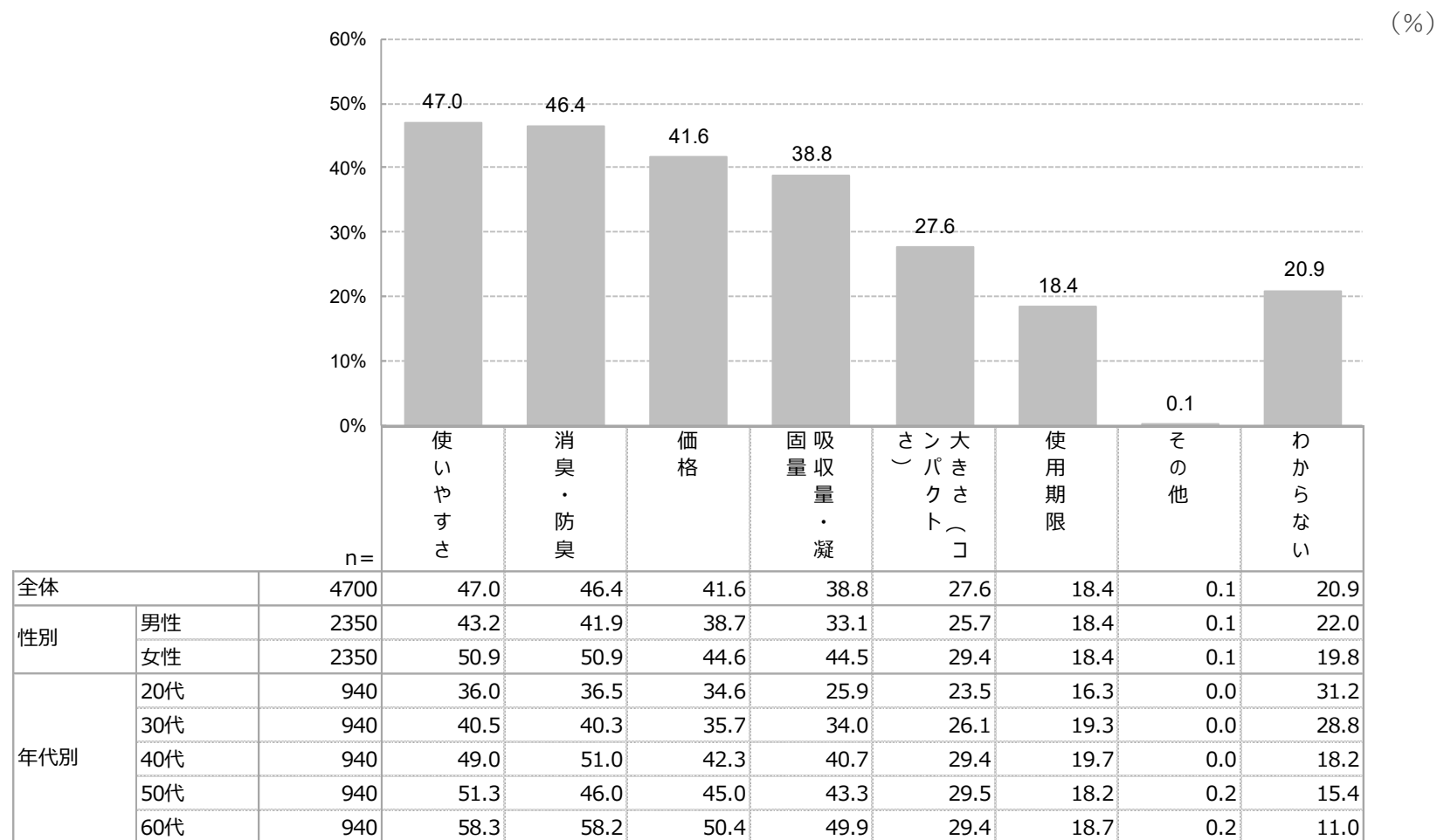


		n=	の自宅敷地内の屋外	ベランダ	室内	物置・倉庫	ご集住所の集合住宅	レジャー・車庫	ご集住所の戸建住宅	その他
全体		4700	30.6	22.1	12.0	10.8	9.9	8.0	5.4	1.1
性別	男性	2350	30.8	20.2	11.8	11.4	9.5	9.2	6.0	1.0
	女性	2350	30.5	24.0	12.2	10.2	10.2	6.9	4.9	1.2
年代別	20代	940	21.9	24.3	20.0	9.4	11.7	6.8	5.0	1.0
	30代	940	28.2	21.1	15.0	11.4	10.2	6.7	6.8	0.6
	40代	940	31.4	23.4	11.3	9.1	10.4	8.5	5.0	0.9
	50代	940	33.3	22.6	8.6	10.2	9.3	8.7	5.9	1.5
	60代	940	38.4	19.1	5.1	14.0	7.7	9.5	4.6	1.6

# 携帯トイレを購入する際に重視すること

Q16. 携帯トイレを購入する際に、どんなことを重視しますか？あてはまるものを全て選んでください。（MA）

・最も多いのは「使いやすさ」47.0%、「消臭・防臭」46.4%、次に「価格」41.6%である。



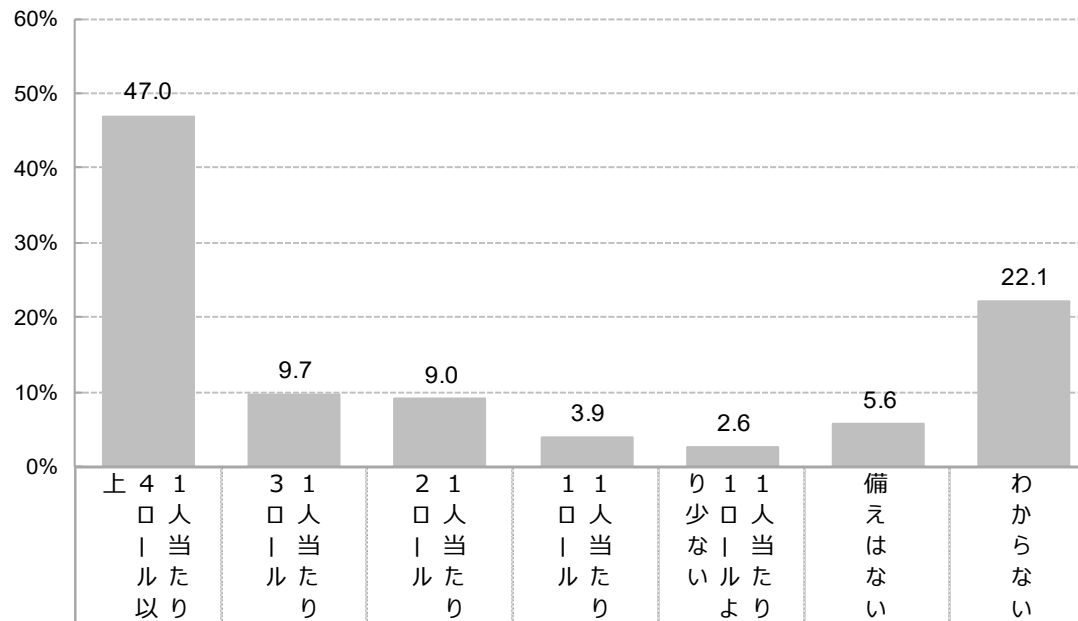
※携帯トイレ：断水や排水不可となった際に、洋式便器等に設置して使用する袋タイプのトイレを指す

# トイレトペーパーの備蓄量

Q17. トイレトペーパーは普段、どのくらい自宅に備えてありますか？（S A）

・最も多いのは「1人当たり4ロール以上」47.0%である。

(%)

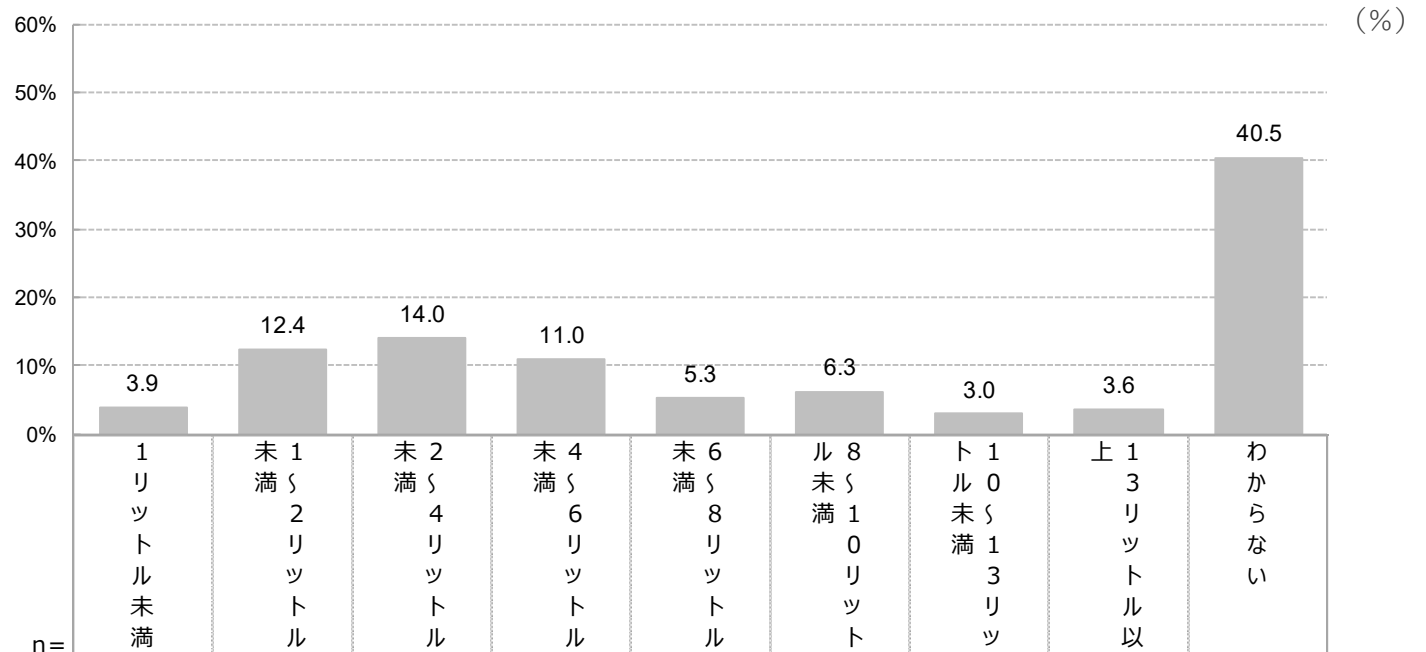


		n=	4人   当   た   り 以上	3人   当   た   り	2人   当   た   り	1人   当   た   り	1人   当   た   り より 少ない	備 え は な い	わ か ら な い
全体		4700	47.0	9.7	9.0	3.9	2.6	5.6	22.1
性別	男性	2350	43.1	10.9	9.5	4.8	3.5	6.3	21.8
	女性	2350	50.9	8.6	8.4	3.1	1.7	4.9	22.4
年代別	20代	940	28.4	9.5	11.6	4.3	4.4	8.4	33.5
	30代	940	34.8	8.9	9.9	5.4	3.1	6.8	31.1
	40代	940	48.1	10.7	7.3	5.0	3.1	4.8	21.0
	50代	940	56.4	10.5	9.1	3.1	1.8	3.7	15.3
	60代	940	67.6	8.9	6.9	1.8	0.7	4.3	9.8

# 水洗トイレ洗浄水の量

Q18. 家庭用水洗トイレで大便後に流れる水の量は1回あたり何リットルだと思いますか？（S A）

・最も多いのは「わからない」40.5%である。

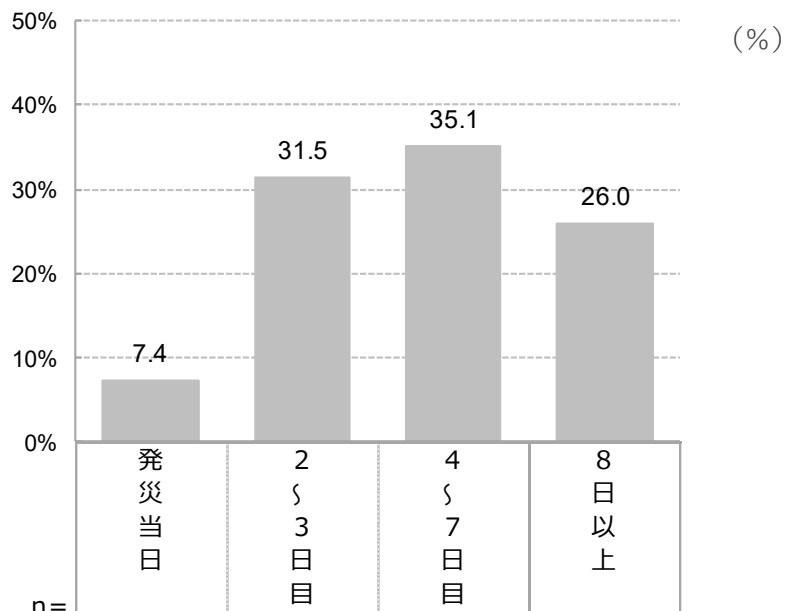


		n=	1リットル未満	1〜2リットル未満	2〜4リットル未満	4〜6リットル未満	6〜8リットル未満	8〜10リットル未満	10〜13リットル未満	13リットル以上	わからない
全体		4700	3.9	12.4	14.0	11.0	5.3	6.3	3.0	3.6	40.5
性別	男性	2350	3.7	11.5	15.9	12.6	5.9	7.1	3.6	4.0	35.9
	女性	2350	4.2	13.2	12.1	9.4	4.8	5.4	2.5	3.2	45.1
年代別	20代	940	4.0	12.6	12.1	8.9	4.3	4.0	2.0	2.8	49.3
	30代	940	3.2	10.5	13.0	11.3	4.9	5.4	2.6	2.4	46.7
	40代	940	2.7	13.5	13.8	11.3	6.4	6.8	3.0	3.9	38.6
	50代	940	4.7	12.8	14.4	10.7	6.2	6.7	3.6	4.9	36.1
	60代	940	5.1	12.4	16.7	12.8	5.0	8.3	4.0	3.9	31.7

# 外部からトイレの支援が届くまでの期間

Q19. 大地震のあと、被災地の外部からトイレの支援（仮設トイレ・トイレカー等）が届くまでに、どのくらいの期間がかかると思いますか？（S A）

・最も多かったのは「4～7日」35.1%、次いで「2～3日目」31.5%である。



		n=	発災当日	2～3日目	4～7日目	8日以上
全体		4700	7.4	31.5	35.1	26.0
性別	男性	2350	8.5	31.8	34.9	24.8
	女性	2350	6.2	31.2	35.4	27.1
年代別	20代	940	12.1	27.3	31.7	28.8
	30代	940	9.5	31.5	32.0	27.0
	40代	940	6.3	29.9	37.2	26.6
	50代	940	4.8	34.1	35.6	25.4
	60代	940	4.1	34.8	39.1	21.9

# 不安に思っていること・知りたいこと

## Q20. 災害時のトイレや排泄に関して、不安に思っていることや知りたいことをご記入ください。（FA）

回答は「衛生面への不安」、「臭い・排泄物処理への不安」、「必要な備蓄量がわからない」「復旧までの期間がわからない」「何が課題かわからない」「プライバシーへの不安」等に分類できる。  
また、「生理への不安」「健康・体調面への不安」についても一定数の回答がある。

n=4700

### 主な内容

#### 「衛生面への不安」

- 不衛生になりそう
- 手が洗えないことが不安

#### 「何が課題かわからない」

- 想像ができない
- 何を聞けばいいかわからない

#### 「臭い・排泄物処理への不安」

- 臭いが気になる
- 排泄物をどこに捨てるのかわからない
- 保管方法を知りたい

#### 「プライバシーへの不安」

- 周囲の目が気になる
- プライバシーが守られるか
- 男女混合はいやだ

#### 「必要な備蓄量がわからない」

- 携帯トイレは何日分あればよいのか
- 一人あたりどれくらい必要か

#### 「生理への不安」

- 生理になったら困る
- 生理用品をどう処理するのかわからない

#### 「復旧までの期間がわからない」

- 水洗トイレが使えるまでの日数
- 下水管が壊れたらどれくらいかかるか

#### 「健康・体調面への不安」

- 普段からトイレが近い
- 下痢気味なので困る
- 我慢して体調を崩しそう

# まとめ

## 特定非営利活動法人日本トイレ研究所

本調査の結果、大地震による停電・断水時の避難生活先として「自宅」を選んだ人は74.7%に達し、多くの方が在宅避難を想定している。一方で、自宅に「災害用トイレ（携帯トイレ・簡易トイレ）」を備蓄している人は20.6%にとどまり、在宅避難を支えるためのトイレ対策が進んでいない実態が明らかとなった。トイレ以外の備えについても十分とはいえない状況である。

災害用トイレの備蓄率は全国で20.6%だが、東京都（35.0%）、神奈川県（34.0%）、愛知県（32.0%）、大分県（32.0%）、静岡県（31.0%）、大阪府（31.0%）などでは比較的、高い傾向にある。都市部では在宅避難についての情報接触が多いことが影響している可能性がある。

また大地震の影響でトイレの排水管が壊れている場合に、水洗トイレを使うと汚水が溢れたり、逆流したりする危険性があることについて「知らない」が過半数の57.3%で、若年層ほど全体に比べて「知らない」とした割合が多い。

一方で、災害用トイレを備蓄している場合にも課題がある。備蓄している数量については「1～5回分」24.8%、「6～10回分」22.0%で、あわせて約半数を占める。国のガイドライン等\*では、1人1日5回分を目安として「最低3日間分、推奨1週間分」の備蓄が推奨されており、十分な数量とはいえない。また、使い方等を事前に確認しておくことも、発災時に衛生状態を保つためには欠かせないが、備蓄している人のうち「購入したまま、確認していない」が59.9%となっており、備蓄していても十分に活用できる状態となっていない。

災害用トイレは水・食料と違って使用した経験がない人がほとんどであり、自由回答においても、何をどう準備したらいいかわからないという課題も浮き彫りになっている。一方で、災害時のトイレ環境が衛生・健康と直結するという意識もある。

日本トイレ研究所では、災害時に自身や周りの人の健康を守るため、自助としての携帯トイレの備えの必要性を呼びかけるとともに、事前に使い方や扱いやすさを確認してもらうための啓発活動を行っていきたいと考える。

\*「避難所におけるトイレの確保・管理ガイドライン」（内閣府（防災担当））では、トイレの平均的な使用回数を1日5回（目安）としている。また「防災基本計画」（中央防災計画）では、「最低3日間、推奨1週間」分の食料、飲料水、携帯トイレ・簡易トイレ、トイレトイレットペーパー等の備蓄等について、国〔内閣府等〕、公共機関、地方公共団体等が普及啓発を図るとしている。

## 命を守るトイレ備蓄プロジェクト

日本トイレ研究所では、災害時のトイレ問題を解決するため、自助としてトイレを備える行動を喚起することを目的として、「命を守るトイレ備蓄プロジェクト」を立ち上げます。災害時に水洗トイレが使えなくなったときの備えの第一歩として「携帯トイレ\*の備蓄」を呼びかけます。これをきっかけにトイレ対応の自助力を高め、災害関連死ゼロを目指します。

\*携帯トイレ：断水や排水不可となった洋式便器等に設置して使用する袋タイプのトイレ

### 参考 携帯トイレに関する規格適合評価

災害時に安心して使うことができる携帯トイレを選ぶために規格Ver.1.0（構造、性能、表示）を作成し、適合評価を実施しています。性能に関しては、人工尿400mLを吸収できることを必須にしています。試験方法など規格の詳細や規格適合製品リストなどは右記の二次元コードからご確認いただけます。ぜひ携帯トイレを備える際の参考にしてください。



[https://www.toilet.or.jp/activities/keitaitoilet\\_standard/](https://www.toilet.or.jp/activities/keitaitoilet_standard/)